

- 令和4年8月31日に締結した国・中小機構・県との伴走支援に関する連携協定に基づき、県内の伴走支援体制を強化
- 令和5年度は、令和4年度の取り組みを強化・本格化し、「質・量」の両面から伴走支援体制の更なる強化を図る

## 支援機関職員の更なる資質の向上 (R4～)

### 【中小機構講師による伴走支援研修の実施】

R4年度：基礎編研修を3会場で計3回実施し、計117名が参加  
(R4.11.22金沢、R4.11.29加賀、R4.12.16能登)

R5年度：より実践的な知識習得のため、応用・実践編を開催

### 【伴走支援事例発表会の開催】

R4年度：全国的に有名な黒澤指導員(埼玉県商工会議所連合会)を講師に招いた20～30代の若手指導員の支援事例発表会を開催し、112名が参加 (R5.3.17)

R5年度：県内支援機関の優良事例発表会を開催し、ノウハウを横展開するとともに、優秀賞を選定・表彰し、支援機関職員の意欲向上に繋げる

## 国・県・支援機関のノウハウの共有 (R4～)

### 【関係機関による連絡協議会の開催】

R4年度～：国・中小機構・県・支援機関からなる連絡協議会を継続して開催し、情報共有や意見交換を行い連携を密に (第1回:R4.10.14、第2回:R5.3.20)

### 【伴走支援事例の横展開】

R4年度：支援機関が県の専門家派遣制度を活用して実施した伴走支援の事例集 (別冊) を作成

＜県専門家派遣制度＞ R5当初1.3億円 (派遣枠4,000回)  
3回まで企業負担なしで専門家を派遣 (ただし、売上減少企業、粗利減少企業、事業承継案件等は回数制限なし)

R5年度：県内支援機関の優良事例発表会の開催 (再掲)

## 事業者へのきめ細かな支援サービスの提供 (R4～)

### 【国・県・支援機関合同セミナーの開催】

R4年度：県内事業者向けに、国・県の支援制度の紹介、中小企業アドバイザーによる特別講演、支援機関等による個別相談会を一体のセミナーとして開催  
(R5.3.23 約150名が参加予定)

R5年度：物価・電気料高騰・賃上等に対応する国・県支援制度の活用セミナーを開催

### 【特別アドバイザーの派遣】

R4年度～：県内で対応が難しい案件(DXや海外展開等)について、国の豊富な人材情報から適切な専門家を派遣

## R5～

### 経営支援システムの構築

効率的・効果的な経営支援が可能となるシステムを構築し、伴走支援業務の効率化と更なる質の向上を図る  
(R5年度は開発期間、本格活用はR6年度からの予定)

### 商工会・商工会議所の経営指導員の増員

国補助金の採択件数が全国平均を一定程度上回るなど、伴走支援に意欲的に取り組む商工会・商工会議所の体制を更に強化するため、経営指導員を増員